



25年度当初予算審議
修正案賛成多数で可決
市民の安全・安心のための予算
補正予算審議
5人がたつ
代表質問
14人がたす
個人質問
議案賛否
地域のかがやき、編集後記



140年の歴史を閉じる玉津小学校



地域のかがやき

地域の写真を市民のみなさんから
も募集します



桜の下 初登校の1年生 (長船中学校)



ルンビニ保育園入園式



ピカピカの1年生 (行幸小学校)



林野火災訓練 (牛窓町前島)

次回の定例会の予定

(インターネット中継のある日)

- 6月17日(月)本会議 9:30~
- 18日(火)本会議 9:30~
- 24日(月)本会議 9:30~ 一般質問
- 25日(火)本会議 9:30~ 一般質問
- 26日(水)本会議 9:30~ 一般質問
- 28日(金)本会議 9:30~
- 7月10日(水)本会議 9:30~

お気軽に傍聴してください。(都合により、日程が変更となる場合があります。)



緊張しながら卒所証書をもらう子ども (学童保育ゆめっこ)

議会広報編集特別委員会

委員	委員長
副委員長	委員
小谷和志	厚東晃央
河本裕志	竹原幹
森下博志	石原芳高
廣田均	室崎陸海
中村勝行	

編集後記

「市民全員が行政参加」を合言葉に、市民の皆さまに一人でも多く政治に関心を持っていただくよう、砕心勉強して参りました。
現議員の任期も5月31日までとなり、次号から編集委員も新しくなります。
今後も市民の代表としての議会活動を、わかりやすく正確で親しみやすい議会だよりとして、発行してもらえと期待しております。
市民の皆さまには、従来どおり議会だよりに対し、ご指導いただきますようお願い致します。
今までのご愛読に、衷心より感謝申し上げます。ありがとうございました。
室崎

●お問い合わせは議会事務局 (0869)22-0979までお願いします。

E-メールアドレス gikaijimu@city.setouchi.lg.jp

瀬戸内市議会ホームページアドレス <http://www.city.setouchi.lg.jp/~gikai>

インターネット
中継はこちら
から

この市議会だよりは
再生紙を使用しています

25年度一般会計修正案を賛成多数で可決

新図書館設計委託料4280万円削除

長船地域の図書室整備計画がはつきりと示されていないことや、将来にわたっての財政負担が大きくなるのが危惧されるとして、25年度一般会

計当初予算のうち、市立図書館整備にもなう設計委託料4280万円を削除する修正案が、議員発議で提出され、賛成多数で可決した。

〈質疑〉

問 設計委託はどうするの

か。

答 委託契約については公募型のプロポーザル方式を考えている。

問 実施計画の進捗状況は。

答 さまざまな疑問や考案方を意見交換する中で一生懸命説明してきたつもりである。

1日も早い開館を目指したく、この2年間の計

答 実施計画は現在策定中であり、24年度末までに仕上げたい。

問 いろいろな議論がある中で、質問や意見等に答えられないと思うが、この委託料をなぜ、ここで上げてきたのか。

答 さまざまな疑問や考案方を意見交換する中で一生懸命説明してきたつもりである。



長船町公民館図書室



瀬戸内市立図書館

新図書館設計委託料を削除する修正案に対する討論

賛成

市長は3年間議論してきたと言われるが、平成23年10月の総務文教常任委員会で、4カ所の候補地といずれも10数億円の

建設費が提示されてから実質審議が始まった。1年半の間に何度も長船の図書室整備案を求め、具体的な案を出されないまま、図書館建設のみが先走るのはおかしい。

賛成

思うので1日も早く建設すべきである。

財政的に大変厳しい状況の中で、維持管理費に年間約1億円を費やすことに不安を感じる。持続可能な図書館行政

はどうあるべきかを考える必要があるのではない

反対

画の中で示してきたスケジュールで進めたいという考えでこのタイミングになった。

賛成

維持管理費削減に向けて全力を尽くすという説明もあり、現在の図書館計画に賛成である。よって、修正案に反対である。



牛窓町公民館図書室

反対

人員配置についても基準より大幅に少ない計画であり不安を感じる。今回の設計委託料を削除する修正案に賛成する。

合併協議会の時からの懸案事項であり、議論もつくされた



市民の安全・安心のため ハザード マップ作成や海拔表示に取り組む

津波ハザードマップ作成及び 海拔表示設置に 1070万円

岡山県は現在、津波による浸水想定図を策定中である。

それをもとに市では、住民参加のワークショップの開催を計画している。

避難所・避難路の再確認や、海拔表示板設置要望箇所等、住民の意見・要望を反映させた、「瀬戸内市津波ハザードマップ」2万部を作成し、全戸配布する。

また、海拔表示板を市内主要箇所及び沿岸部へ設置する予算1070万円が計上された。

※ワークショップとは、参加者が自ら参加・体験し学びあう会



防災のワークショップ

〈質 疑〉

問 ワークショップの開催場所は。

答 牛窓、鹿忍、長浜、玉津、裳掛の沿岸部を中心として開催する。

問 ワークショップの対象者は。

答 行政委員を窓口地域の方々に集まっていたいただく。

問 海拔表示板設置は何か所か。

答 公共施設、避難所、集会所など、沿岸部を優先的に、約800カ所を計画している。

問 なぜ海拔表示としたのか。

答 津波の高さを表示すると、それより高いところであれば、安全であると過信されるので、海拔表示とし、できるだけ高いところへ避難していただく啓発を考えている。

問 設置時期はいつか。



今地域で自主的に設置した「津波到達想定高の表示板」

答 25年秋ごろまでに設置したいと考えている。

問 期待される効果は。

答 地震発生後に襲来する津波からいち早く避難するための目安や、浸水高の目安になり、市民の防災意識の高揚が図られる。

消防団機庫用地取得に 590万円

25年1月より、邑久地域の消防団再編にともない、邑久東分団（本庄・裳掛・玉津）と邑久西分団（邑久・福田・今城・豊原・笠加）との2分団となり、邑久西分団の消防機庫用地取得費590万円が計上された。

590万円

答 年次計画を立て整備していくように考えている。

問 なぜ新しく邑久西分団の機庫を整備するのか。

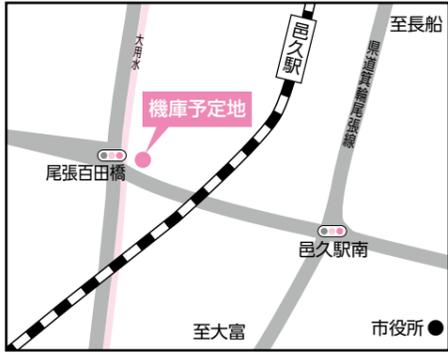
答 水道、トイレ、待機場所が整備されている機庫が少ないためである。

〈質 疑〉

問 どの場所にどのような建物を作るのか。

答 レストタウン邑久南西角地に、鉄筋コンクリート2階建てを予定している。

問 今までの機庫はどうするのか。



消防救急無線整備に 4億740万円

電波伝搬調査及び実施設計は24年度末には終了し、25年度でデジタル無線機器の設置工事及び既存の車両動態表示システム（AVM装置）の改修を行うための予算4億740万円が計上された。

〈質 疑〉

問 24年度で電波伝搬調査したものであるが電波の状態等、問題はなかったのか。

答 現在の防災行政無線ではほぼ全域をカバーできる。

一部届きにくい結果が出ているが、分駐所へ基地局を整備し補完的に行う計画としている。

水産業の振興に 300万円

邑久漁協・牛窓漁協に対して、（それぞれ150万円を上限として）補助金が計上された。

〈質 疑〉

問 どのようなものに対する補助金なのか。

答 冷蔵庫の修繕や容器の化粧カバー作成経費に対するものである。

問 補助率を決めて補助すべきでは。

答 今後は、補助率を決めて、予算範囲内で補助することとした。

「瀬戸内市がん対策推進条例」制定



ゆめトピア長船で行われているがん検診

本市におけるがん対策を総合的に推進するため、がん対策に関する施策の基本となる事項を定める条例が制定された。瀬戸内市議会では、議会基本条例など議会関係の条例は制定しているが、議員発議による政策提案の条例制定は初の

市議会初めての政策提案

ケースである。賛成多数で可決した。

全文十一条からなり、

第一条では目的

地域のがんにかかわる医療水準の向上並びにがんの予防及び早期発見の推進を図るとともに、がん患者が安心して暮らせることができる地域社会を実現するため

第二条から四条は、

市保健・医療・福祉関係者及び市民のそれぞれの責務

第五条から九条は、

市が取り組むがん予防や早期発見の推進、療養生活の質の維持及び向

耐震性消防貯水槽に 2660万円

大規模地震により、水道管等が破損した場合のことを考え、耐震性消防貯水槽をレストタウン邑久の南西角地に設置する予算2660万円が計上された。

〈質 疑〉

問 場所の選定理由は。

答 貯水槽から半径1kmで、邑久地域の密集地のほとんどが包含できる場所を最適と判断したためである。

ため池診断等へ 3600万円

震災対策農業水利施設整備事業（ため池診断160カ所・農道橋診断5カ所）を実施するもので、3600万円が計上された。

〈質 疑〉

問 160ヶ所に決めた理由は。

答 市内には現在64ヶ所、4ヶ所ため池があり、今回は受益面積2ha以上のため池を実施することにした。

公立保育園・児童館に防災カーペット 320万円

消防査察が行われ、防災カーペットを使用するよう指摘をうけた。それにもなう予算320万円が計上された。

〈質 疑〉

問 全室で対応するのか。

答 全ての部屋で対応し、156枚を予定している。



設置された防災カーペット(邑久保育園)

問 民間保育園に関してはどうな対応か。今後消防で確認をしてもらう予定である。

人事案件

教育委員会委員

川島 ゆかさん
平成25年2月25日
平成25年12月24日
淵本 晴生さん
平成25年4月1日
平成27年12月24日
を任命することに同意

人権擁護委員

平成25年7月1日
平成28年6月30日
片山恵美子さん
を推薦することに同意

上、緩和ケアの充実並びに医療や在宅医療の環境整備について必要な施策第十一条は、がん対策の推進に関する施策の実施状況について、定期的に検討を加え、必要な措置を講ずる。第十一条は、各種施策を実施するため、財政上の措置を講ずるよう求めるもの

〈質 疑〉

問 発議に至る経緯は。

答 23年1月の環境福祉常任委員会において、がん対策推進条例を調査研究してほしいとの提案があり、調査することとした。以後8回委員会で調査した。委員会内の合意がとれなかった

ため、議員発議することにした。

問 条例制定後の施策の実効性は確保されているか。

答 委員会開催時には、関係課の職員の出席を求め、参考意見を聴取しており、実効性は確保されていると理解している。

〈討 論〉

反対

執行部と議会との間で、まだ合意形成ができていない。時期尚早と考える。

賛成

がん対策に取り組む担当部署を議会として後押しするという意味において、この条例の果たす意義は大きいものがあると考ええる。

代表質問

日本共産党瀬戸内市議団 厚東晃央

- ① 市民の生命と暮らし・福祉優先の市政について
- ② 市内循環する地域経済の振興について
- ③ 豊かな教育・文化環境について

問 介護保険料や介護などが高齢者の負担となっている。市として、軽減策を考えていくべきである。介護保険料の引き下げや介護、特に在宅介

市長 医療費の伸びが今後どうなっていくか、医療費の推移をみきわめながら、適正な判断をしていく責任がある。で、引き下げできなかった。

市長 介護保険料の引き下げは可能である。なぜ、引き下げをしなかったのか。

問 国民健康保険加入者は、1万66人、5850世帯となっている。国保税が負担となっているという市民の声、引き下げてほしいという声にこたえていない。

市長 国保基金は1億8620万円ある。引き下げは可能である。なぜ、引き下げをしなかったのか。

市長 今の予算内で対応できる改善をしていく。他地域への運行は、モーモーバスの状況をみながら、検討していく。

市長 また、他地域への運行も進めていくべきと考えるが、どのように進めていくのか。

市長 市民の交通確保は大切なことである。モーモーバスの路線延長、運行時間の延長をしてほしいという要望になぜこたえないのか。

市長 介護保険を利用する高齢者が増加している。介護保険料の引き下げはできない。介護への負担軽減は、現在行っている取り組みを増やしていく。

市長 介護保険を利用する高齢者が増加している。介護保険料の引き下げはできない。介護への負担軽減は、現在行っている取り組みを増やしていく。



新病院建設に向けての工事が進んでいる

市民病院への要望 市民病院への要望がたくさんある。「診察時間延長」「小児科の充実」「医師・看護師接遇改善」などのようにしていくのか。

病院事業管理者 365日対応できるようにしている。小児科は、週2回だが、増やしていきたい。医師・看護師の接遇改善は、コンサルタントに外部的な目でみてもらい、日ごと努力していく。

市長 限られた財源の中で大きな道路の建設と、生活道路の整備をバランスよく進めていく。



新設された本庄福谷線

代表質問

瀬戸内市民の会 平原順二

- ① 市長、副市長、教育長に市政について所見を問う
- ② 新図書館の今後の進め方について
- ③ まちづくりについて
- ④ デマンドバスの今後について

教育長 教育委員会の活動が、市民の皆さまの目に見える形で一つ一つ積み重ねていきたい。

教育長 今後市の教育問題をどのよう戦略で考えているのか。

市長 これからは、国、県との信頼関係、さらに民間力の有効活用で自主財源を確保をし、将来に禍根を残さない財政運営をしていきたい。

市長 市の財政は、今後ますます厳しくなるがどのように「安全・安心な瀬戸内市」を目指して行くのか。



狭くて危険な道路（邑久町本庄）

市長 県にもお願いしているが、なかなか前進していないのが現状である。粘り強く頑張っていく。

市長 県にもお願いしているが、なかなか前進していないのが現状である。粘り強く頑張っていく。

市長 財政的には厳しいが、玉津地区、裳掛地区、美和地区の調査を実施している。結果を踏まえて方向性を検討していきたい。

市長 デマンドバスの今後は、市内全体への考えはあるのか。

問 新図書館の費用は一年間約1億円必要だが何か具体策は。



牛窓で実証運行されているデマンドバス（モーモーバス）

市長 市民によって構成される図書館友の会などの任意団体にさまざまな運営管理をしてもらい、市民の皆さまと一緒に図書館を育てていく方向性を目指していきたい。

市長 小・中学校で30人以下学級にして、ゆとりある教育環境にしていくべきではないか。

教育長 現状では、難しい。

代表質問

せとうちクラブ 中村勝行

- 1 市長の政治姿勢について
- 2 ごみ30%減量作戦について
- 3 高齢者福祉について
- 4 病院事業について

- 5 観光行政について
- 6 下水道事業について
- 7 教育委員会の施策について
- 8 行財政運営について

病院事業部長

問 市民病院の建て替えは着々と進んでいるが、牛窓診療所の整備計画はどうなっているのか。

病院等検討委員会から、今後、利便性の高い場所で集客力向上も考慮しながら、移転整備を行うべきと指摘を受けた。早い時期に交

市民生活部長

問 ごみ30%減量作戦はなぜ達成できなかったのか。総合的な原因究明はしたのか。

25年1月末現在ののごみ減量率は7%の状況である。この3年間の点検については、25年度の早い時期にプロジェクトチームの中で総括、原因究明を行い、その反省の上に立って目標達成に向けたごみ減量への取り組みをより一層進めていきたい。

市長

以上の高齢者の医療費は全国平均で1人あたり月額7万4400円となっており、これに県下でも高額の介護保険料を引かれると苦しいのが実情で、負担の軽減が望まれているが、どうか。

市長

2期目を目指す市長の目標について、これからの「安全・安心のまちづくり」をどのように考えているのか。

行政として今後、市民の皆さまの生活を支えるための防災対策、救急医療体制の整備、道路橋りょうなどインフラの保全管理、学校など公共施設の耐震化にも力を入れる必要がある。

また、地域や学校、職場単位での防災活動と充実、福祉施設、民間企業などの連携協定を通じて、地域全体で安全・安心なまちづくりを目指していく。

市長

老人の医療費、介護保険料は、国民年金で暮らしている高齢者にとって相当負担となっている。国の試算では、70歳

以上の高齢者の医療費は全国平均で1人あたり月額7万4400円となっており、これに県下でも高額の介護保険料を引かれると苦しいのが実情で、負担の軽減が望まれているが、どうか。

市長

現段階ではなかなか厳しい状況であり、当面は心分の負担をお願いしたい。

問 子ども・子育て支援計画が策定される予定であるが、今後子どもの数を増やす方策は。

市長

27年までに計画を策定し、乳幼児の学校教育、保育、地域の子ども、子育て支援を総合的に推進する。

問 財政を豊かにするために、税金アップする対策は。

市長

企業誘致に積極的に取り組むほか、錦海塩田跡地の活用により税収だけでなく地域活性化と経済の循環に取り組んでいく。

問 不登校問題の解決策は。

市長

実態把握を確実に行うとともに、不登校の兆候を見逃さない対策を行う。

問 市民から市民病院の不適切事案を聞く。接遇はどうなっているのか。

病院事業管理者

接遇については職員に徹底している。



市民病院附属牛窓診療所

上下水道部長

27年度までに予定区域を全て供用開始するには、1、2年程度ずれ込みそうである。

問 玉津小学校は閉校となったが、その他の学校、園について今後どうするのか。

教育長

玉津小学校の統合が一つのモデルとなる。例えば児童数が30人

問 地域防災計画の見直しは。

市長

津波災害対策を重点に見直す。

問 錦海塩田跡地活用について、借地料、固定資産税を市政にどのように反映するか。

市長

錦海塩田跡地に関連する基金を創設し、市民、議会を含め議論していく中で考えていく。



係部署や地元と協議しながら、実施に向けて調整を進めていきたい。

問 長船地域での図書室整備の概要を知らせ。

教育長

長船町公民館を拡充する案と、ゆめトピア長船の一部スペースを活用する案がある。

今後、他の公の施設のあり方も含めて検討したいと考えている。

産業建設部長

問 図書館整備とあわせて周辺整備をどう考えているか。面的な検討もすべきではないか。

地元から要望書が提出されており、今後開



瀬戸内市立 玉津小学校

個人質問

- 小野田光**
 1. 中期財政見通しの状況と今後の展望について
 2. 市道布浜線について
- 竹原 幹**
 1. 中期財政試算について
 2. 市民病院の運営について
- 日下敏久**
 1. 安全・安心で美しいまちづくりについて
 2. 企業誘致について
 3. 高齢者への手厚い支援について
- 木下哲夫**
 1. 市長の政治姿勢について
 2. 教育行政について
- 松本和生**
 1. 地域活性化について
 2. 予防接種について
- 島津幸枝**
 1. 子育て支援について
 2. 錦海塩田跡地活用基本計画について市のかかわりと責任を問う
- 柴田 巧**
 1. 個別外部監査報告書について
- 森下博志**
 1. 防災について
- 室崎陸海**
 1. 歴史伝統文化に立脚したまちづくりが生む経済効果対策について
- 石原芳高**
 1. 教育重点目標について
 2. 高齢化社会への対応について
- 河本裕志**
 1. 離島振興について
 2. 情報インフラについて
 3. 港湾整備について
 4. 子どもの育成について
- 小谷和志**
 1. 安全対策について
 2. 要介護認定について
- 原野健一**
 1. デマンド交通事業について
- 田中伸五**
 1. 道路・河川の整備について
 2. 財政について
 3. 通学路について

代表質問

公明党瀬戸内市議団 久保木 彰

- 1 福祉行政について
- 2 教育行政について
- 3 行政改革について
- 4 森の防潮堤について

問 障害者優先調達推進法について問う。

保健福祉部長

障害者優先調達推進法には、障害者就労支援施設等の受注の機会を確保するための必要な事項等が定められている。

物品等の需要の増進を図り、これによって障害者就労施設で就労する障害者、また在宅就業障害者等の自立の促進を図られるものと認識している。

今後、市がどの部署にどのような需要があるのかを横断的に調査して、県内の障害福祉サービス事業所の共同受注窓口である岡山県セルブセンター、きらめきプラザが窓口となり、市内にある施設等の提供可能物品、またサービス等を聞き取り、発注できるように努力したい。

問 いじめ、不登校への対応について問う。

教育長

いじめは複雑化しており、教員の目から見てもなかなか見つけづらいところがある。各教員が一致団結して早期発見に取り組んでいる。

また、日ごろからいじめが起きない学校環境づくりが重要である。いち早くいじめの兆候に気づき、確実に解決していくことに力を注ぐ。

不登校対策については、新たな不登校を生まないことに重点を置いて取り組んでいるが、もし休み始めたら最初の3日間、初動の対応が極めて重要だと考えている。

問 期日前投票の宣誓書を入場券の裏面に印刷して郵送してはどうか。

選挙管理委員会事務局長

全国的にはいくつかの自治体で実施している。それらの状況を研究し、費用対効果などを検討していきたいと考えている。

また、これにあわせて、選挙時に有権者の方が事前に宣誓書を入力できるように、選挙管理委員会のホームページから様式をダウンロードが可能にすることもあわせて検討したい。

問 市長本人が講師をつとめた、研修はあるのか。

市長

総合計画の策定・各種個別の計画を策定する際の計画策定研修は、私が全て担当をした。



小野田 光

問 財政見通しの状況と今後の展望は

答 財政健全化に今以上努める

市長

先の見通しをしっかりと見据えた上で、財政健全化に今まで以上の努力を払っていく。

市長

知恵を絞りながら国等の使えるお金がないかなども含めて検討を続けている。

引き続き、よりよい方法を模索していきたい。

問 市道布浜線のその後の進展は。

市長

引き続き、よりよい方法を模索していきたい。

総合政策部長

歳入の増加策であるとか、国政の状況等を確認しながら計画の見直しや、新たな効率化策等を加えた財政計画を策定していく。



竹原 幹

問 経常収支比率が100%を超えるが

答 さらに7億円削減する必要がある

問 平成24年度の中期財政試算では、32年度から経常収支比率が100%を超え、人件費すら払えない事態になる。

総合政策部長

目標の95%未満になぜしなかったのか。

総合政策部長

目標値にするためには、さらに7億円削減する必要がある。現実味のないものになってしまふ。

常収支比率が100%を超える試算では、冷暖房費も払えない状況が考えられる。厳しい財政状況の中で、図書館行政はどうあるべきと考えているのか。

病院事業部長

指定管理、民間譲渡等の選択肢も視野に入れた上で、運営のあり方を考えていくことになる。



新病院外観イメージ図

日下 敏久

問 安全安心な美しい町づくりは

答 優先順位を考慮して整備を実施する

問 生活道路や通学路の整備をどのように進めるのか。

産業建設部長

緊急性の高いところから順に実施したい。

問 インフラ及び校庭内設備の耐震対策状況は。

産業建設部長

点検では、3つの橋梁で保全対策が必要となり、順次実施する。

教育長

校庭内の設備は、毎年の点検で指摘された箇所を順に進めたい。

問 豆田地区、敷井地区の排水機場整備状況は。

産業建設部長

豆田排水機場は、要望を続けて行きたい。敷井地区排水ポンプは、整備方針が決まるまでは応急ポンプの設置で対応したい。

市長

今後、市民病院が健康づくりの拠点となり、その結果、全体的な医療費軽減につながると考え、検討していきたい。

問 企業誘致について早急に農業地域から、農村地域工業等導入促進法による農工団地指定をしては。

産業建設部長

新たな農工団地指定は、未誘致用地に目途がついてから検討したい。



木下 哲夫

問 4月以降も答申まで給与減額をすべき

答 4分の3人前の仕事はしていない

問 本年2月、自衛隊入隊予定者5人に対し、激励会を実施し、激励金を贈呈しているが、他市の激励会に準じた方法にしたらどうか。

総務部・総合政策部参与

合併前から旧3町で激励金を贈呈して、激励会を実施しており、

合併後もそれを引き継いでいる。来年度以降の激励会の方針については、自衛官募集の相談員などと協議して検討したい。

問 市長等の給与減額の時限が来て、4月からは元の給与になる。他方で国は、地方に対し国家公務員に準じた職員給与の見直し

市長

市長、副市長、教育長、病院事業管理者は給与カットを受けながらも全力で職務に取り組んできた。私も4分の3人前の仕事をしてきたつもりはない。今までの4年間を市民にぜひ問いたい。

総務部長

職員の給与水準は、県下15市中最下位なので、他市の動向を注視する。

松本 和生

問 高齢者のワクチン接種に補助は

答 国の動向を見て対応したい

問 地域おこし協力隊の活動の目標と任期は。

また、過疎化や高齢化の影響で空き家が増えているが、その対策は。

総合政策部長

任期は3年で、達成する目標は農水産物の販売促進、ブランド開発、市民活動の活性化の支援などである。各種団体と緊密な連携のもとに定着させたい。また、退任後は市内定住に向けて事業継続を行うために、法人を立ち上げることも考えられる。

空き家対策として、牛窓地域では、所有者に活用の意向調査をし、他の地域では行政

委員等に相談し、実施可能か検討している。また、定住相談会等に空き家情報も紹介し、市のPRも行う。

産業建設部長

地域おこし協力隊と連携して瀬戸内ブランドの開発を2品、遊休農地年間活用面積10haを目標に取り組む。

問 高齢者の肺炎球菌ワクチン接種への補助は。

保健福祉部長

国が肺炎球菌ワクチンを新たな予防接種として検討している。そうなれば、補正予算で対応したい。



島津 幸枝

問 安心して遊べる公園の整備を

答 図書館整備の中で改善したい

問 子育て中の方から「近くに安心して遊べる公園が欲しい」という要望を聞く。公園を整備してはどうか。

総合政策部長

公園整備は、子育て支援の大きな柱と認識している。都市計画を検討する中で公園整備を考えたい。

市長

図書館整備の中で、外で遊べる空間を整備したい。

問 保育園に預けていない子どもの一時的保育だが、邑久保育園では、いっぱい受け入れを断っている現状。今城や福田保育園での実施を求む。



保健福祉部長

邑久地域に1園のみでは需要を充足できていないと認識している。邑久保育園の保育士を現在の2名体制から来年度は3名体制で行うことを検討したい。福田保育園でも一時保育が行えるよう、J A旧福田支所跡地取得を検討したい。

問 児童発達支援センターの開設を求む。

保健福祉部長

開設に向け協議しているところ。J A旧福田支所跡地の活用案がある。必要な人材や場所の確保に向けて努力していきたい。

森下 博志

問 防災について今後の方針は

答 危機管理部を中心に体制強化を図る

問 防災について、今後の方針は。

総務部長

大規模な危機事象、緊急事態への迅速な対応を目的として、市長直轄の危機管理部危機管理課を設置し、危機管理及び防災対策全般を担う。



防災マップ

東日本大震災における反省点として、縦割り行政の弊害、現場に對しての適切な権限移譲ということが課題となった。

また、迅速な情報伝達や指示ができず、人命救助、復旧活動に支障を来した。より実践的な職員の

防災訓練等を実施し、危機管理部を中心とした防災体制の強化を図っていききたい。

問 防災士の養成についての考えは。

総務部・総合政策部参与

市民の防災意識の高揚を図るなど、地域における防災リーダーの養成は重要であると考えている。

資格取得に対して、3万円を限度として補助するが、取得支援するだけでなく、非常時にどう対応できるかが重要だと考えている。最終的には自主防災組織ごとに防災士がいるのがベストと思う。

小谷 和志

問 市内の安全対策は行っているのか

答 それぞれ確認し対応する

問 防災行政無線の聞こえにくい地域の解消に向けての対応は。

総務部・総合政策部参与

自治会等の伝達網の活用などの対応に加え、緊急速報メール等や広報車による広報活動などで伝達していきたい。

産業建設部長

毎年、職員が見回りをし、危険箇所の把握に努め、目視により点検を実施している。

教育次長

学校支援地域本部事業による通学時の見守り活動など、地域ぐるみで安全・安心を確保できる仕組みを、取り組んでいく。

問 山林、急傾斜地等の危険箇所の把握と安全対策は。

随時現地調査を行い、異常の早期発見に努め、堆積が進んでい

保健福祉部長

調査員現任研修や調査員間で意識統一を行う等、公平で基本に忠実な認定調査に努め、適切な介護保険サービスに取り組んでいく。

河本 裕志

問 安全・安心公共コモンズの市の対応は

答 平成27年度に県のシステムを活用したい

問 公共コモンズは、災害発生時や復旧、復興に至るさまざまな局面において、公共情報を共有する基盤整備の必要性が一層求められているが、市はどうするのか。

総務部・総合政策部参与

現在国は、住民が必要とする情報が迅速かつ正確に伝わることを目的として、公共コモンズの普及促進を行っている。

産業建設部長

焼失箇所は保安林のため、県が事業主体となり、25年度から復旧工事に着手する予定である。

焼失した木を伐採し土地をならし、苗木の植栽、3、4年にわたりに下草刈りを実施する。急斜面は、階段状に法面を切り、丸太で筋状に土留めを施し、土砂の流出を防ぐ工事を実施して、林野庁と協議しながら、前島の森林の復旧に努めたい。



防災行政無線スピーカー



復旧が望まれる前島の焼失部



道路幅が狭くバイパス道が急がれる佐井田交差点付近

問 県道瀬西大寺線の佐井田付近は、道幅が狭く大変危険であるが、バイパス新設の計画は進んでいるのか。

答 県道瀬西大寺線の見つかった。他のルートとして、7案あるが、早期に事業着手できるように県に強く要望していく。

問 モーターバスの利用者数は、1日平均10人であるとの答があった。

答 モーターバスの利用者が増えるよう、軽四タイプの車も使いドア形式にするとか、運行時間の見直しとか、実証運行期間中に、もっと改良していくべきでは。

原野 健一
問 県道佐井田バイパス計画の進捗状況は

答 前計画には問題があり他ルートを進める

問 錦海塩田跡地の活用は進みましたが、農業者、漁業者の絡む中央排水路の問題解決策は。

答 錦海塩田跡地の活用は進みましたが、農業者、漁業者の絡む中央排水路の問題解決策は、基本構想の理念を基に、連合体とも協議を重ね、それぞれに専門の技術者を交えて問題解決に向け検討をしている最中である。

問 乗合いバスであるということが前提であるため問題点も多い。利用者の生の意見も聞き、牛窓地域全体を考えながら検討を重ねていく。

問 「埋蔵文化財対応は」旧3町の発掘品の整備と方向性の検討は。

答 「埋蔵文化財対応は」旧3町の発掘品の整備と方向性の検討は、埋蔵文化財は、国民共有の貴重な財産である。新図書館に整備する郷土資料展示スペースの中で検討していく。

問 団塊の世代も65歳を超えるようになり、地区によってはコミュニティの力が弱まってきている。対応や対策は。

答 「寒風陶芸会館整備は」国指定の古窯跡群の公園整備構想は。

問 「波歌山遺跡整備は」SECの雑種地2900坪を買い取り、牛窓の古代の海の歴史を語る海の公園構想は。

答 「波歌山遺跡整備は」SECの雑種地2900坪を買い取り、牛窓の古代の海の歴史を語る海の公園構想は、また、瀬戸内市のイベント広場としての全体性を検討していきたい。

議会基本条例に基づき、議案等に対する各議員の賛否を掲載します。
2月定例会では、補正予算関係議案14件、条例関係議案24件、人事関係議案3件、当初予算関係議案14件、議員による修正案1件、議員発議案2件、その他5件の63件の案件が審議されました。賛否の分かれた案件のみ掲載します。
(掲載のない議案等は、全会一致で可決されました。)

各議員の賛否一覧

議案	公明党		政愛		日本共産党		市市民の会		改革		(無党派)		賛成	反対									
	久保木	河本	室崎	茂成	島津	厚東	平原	田中	馬場	小野田	木下	中村			柴田	松本	石原	廣田	日下	小谷	竹原	森下	堤
平成25年度瀬戸内市一般会計予算に対する修正案について	×	×	×	欠	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	欠	×	○	○	×	-	11	8
平成25年度瀬戸内市国民健康保険特別会計予算	○	○	○	欠	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	-	17	2
瀬戸内市がん対策推進条例を制定することについて	×	×	○	欠	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	○	○	○	○	○	-	13	7	

○=賛成 ×=反対 欠=欠席 -=議長職 (議長は表決に加わりません)



玉津小学校閉校式での藤原一成教育長

問 教育重点目標を掲げているが、任期中に実現させたい具体的な教育施策は。

答 た、体験型学習研究推進事業と、地域で子どもを育む学校支援地域本部事業である。幼少期教育については、幼児期における教育が、その後の人間としての生き方を大きく左右する重要なものであることを認識し、常に関心を払うことが必要だと考えている。

問 また、保健福祉部と連携し、保幼小で共通カリキュラムを試行する予定であり、家庭や地域の協力も得ながら、幼少期教育を一層充実させたいと考えている。

問 「埋蔵文化財対応は」旧3町の発掘品の整備と方向性の検討は。

答 「埋蔵文化財対応は」旧3町の発掘品の整備と方向性の検討は、埋蔵文化財は、国民共有の貴重な財産である。新図書館に整備する郷土資料展示スペースの中で検討していく。

問 「虫明市民の森整備は」黒井山第5駐車場を活用しての三猿斎茶道の森として整備をしては。

答 「虫明市民の森整備は」黒井山第5駐車場を活用しての三猿斎茶道の森として整備をしては、市が頂いた7000㎡の土地活用の検討と、残りの土地の部分と、残りの土地の部分を地権者の方と話をさせていたしながら、牛窓の活性化と土地の有効活用を検討していきたいと思っています。



海の公園にできないか(SECカーボン(株)跡地)

石原 芳高
問 教育長の所見を問う

答 信念をもって教育行政にあたる

室崎 陸海
問 歴史伝統文化が生む経済効果対策は

答 歴史的財産の活用を真剣に考えていく